

コベルコ建機グループ 中期経営計画 <2006～2008 年度>

コベルコ建機グループは、2006年度～2008年度「中期経営計画」を策定致しました。
当中期経営計画における最大のテーマは、「変化に強い事業体の構築」です。

当社では、05年度を 経営の改革、生産・開発の改革、中国事業の改革 の年と位置づけ、将来へ向けた収益構造の再構築を推進して参りました。

そして06年度を初年度とする中期経営計画においては、新スローガン「さすがコベルコ」を旗印に、コベルコ建機グループ一丸となって、以下の「経営ビジョン」に沿って重点課題を着実に遂行することにより、企業の深さと存在感を追求して参ります。

<コベルコ建機グループの経営ビジョン>

世界中のお客様に対し、創造的な“知と技”により、革新的ソリューションを提供する。
このお客様価値の最大化を通じて、持続的成長を実現し、グローバルトップブランドを目指す。

<重点課題>

価格競争力の徹底追求

- ・ミニショベル生産体制の変革(大垣事業所における生産統合、製販一体運営の推進)
- ・広島工場の“世界のマザー工場”としての再変革 と 生産拠点のグローバルな活用

コベルコプレゼンスの高揚

- ・コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンス活動の徹底
- ・CSR活動の推進(「コベルコ建機CSR基金」の運営 および「チームマイナス6%」活動の推進など)
- ・神戸製鋼グループブランド“KOBELCO”の浸透、普及活動

CNH 社とのグローバルアライアンスの進展

- ・排ガス第4次規制に向けた開発共同化
- ・エリア戦略の共有化

品質マネジメント体制の構築 (顧客価値創造に向けて)

- ・品質重視の徹底化
- ・フィールドへのサポート強化

中国事業の自立運営

- ・中国事業本部による迅速な経営判断および製販一体運営体制の確立
- ・ブランド力の向上によるプレゼンスの確保

<経営目標> 【中期経営計画 経営目標(連結ベース)】

	2005年度実績	2008年度目標
売上高	1,942億円	2,300億円
経常利益	87億円	120億円
売上高経常利益率	4.5%	5.2%